



優秀賞

富良野市



クリーンタウンプロジェクト(国道38号沿いゴミ拾い)、38年間継続している「親子二世代」活動

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

富良野市立樹海中学校(旧富良野市立樹海中学校)

【富良野市】

「ふるさと樹海」に学び、「ふるさと樹海を」愛する

はじめは？

樹海中学校は、開校以来樹海地区(東山・西達布・老節布・平沢)と密接な関わりを持ちながら「ふるさと樹海」に学ぶことを中心に据え学校運営を行っています。開校以来、地域の産業である畑作について学ぶ、「カボチャの栽培や販売」、地域のごみ拾いを行う「クリーンタウンプロジェクト」、SDGsの実践として「古紙・空ビン回収」、地域の景観の素晴らしさを見直す「ふらの東山フォトコンテスト」への参加など、様々な取り組みを地域とともに実践しています。活動のきっかけや開始時期はそれぞれの活動により違うが「ふるさと樹海」に学び、「ふるさと樹海」を愛する生徒、更には今後の地域の担い手になる人材の育成に寄与しています。

おもな活動

- ・「カボチャの栽培や販売」：校地内にPTA等の協力を得て作付けしており、毎年1~1.5tを収穫しています。販売体験や東京のレストランへの出荷、近隣の施設への寄贈など、生徒が生産の喜びを学ぶ機会となっています。
- ・「クリーンタウンプロジェクト」：今年で38回目を迎える本校の伝統的な教育活動で毎年、春先に国道38号線沿いの清掃作業を実施しています。
- ・「古紙・空ビン回収」：リサイクル活動の実施により、SDGsへの理解に役立っています。
- ・「ふらの東山フォトコンテスト」：普段見慣れている景観の素晴らしさを見つめ直すことを目的としています。



カボチャ販売状況

ここが自慢

【地域と一緒にふるさと樹海を学ぶ】

「カボチャの栽培や販売」は、農業の素晴らしさや生産に対するやりがいなどを、実践的に学ぶ非常に大切な学習機会となっています。



「クリーンタウンプロジェクト」は、38年間継続している「親子二世代」活動です。活動の主体も生徒会本部が進めており、生徒の主体性や自主性が培われる取組になっています。

カボチャの収穫状況
樹海中学校は、令和4年3月に樹海小学校と統合し、「樹海学校」という義務教育学校に生まれ変わりました。樹海学校も、教育目標を「ふるさと樹海に学び、世界に目を向け行動する人」と定め、これまで通り、地域と一体となり積み重ねてきた教育活動を実践していきます。

連絡先

代表者名：校長 森田 繁さん／設立：1981年／会員：54名

住所：北海道富良野市字老節布5007番地1

電話番号：0167-27-2307 (西川教頭)

F A X：0167-27-2308

E-mail：jukaityu-2@city.furano.hokkaido.jp

U R L：https://www.city.furano.hokkaido.jp/jukaisho/